

平成 30 年度気仙沼市防災フォーラム(第 27 回防災文化講演会)を開催しました (2019/01/22)

テーマ：防災教育、気仙沼市
場所：気仙沼市中央公民館（宮城県気仙沼市）

1月22日（火）、気仙沼市中央公民館を会場として、気仙沼市と同教育委員会主催、当研究所と気仙沼ESD/RCE推進委員会の共催、気仙沼市立小・中学校安全担当主幹教諭の皆様の企画・運営で「平成30年度気仙沼市防災フォーラム」が開催されました。本フォーラムは、当研究所が気仙沼市内で2ヶ月に1回程度開催している防災文化講演会の第27回としての位置づけもあります。2017年から同フォーラムを継続的に開催し、今回が4回目の開催となります。今回は、「市民みんなで考える防災」をテーマに、市内の中高生をはじめ学校関係者や自主防災組織等地域住民約120名の参加により開催されました。本研究所から今村文彦所長・教授（災害リスク研究部門）および佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）が参加致しました。

講演会は、中高生からの防災学習発表会3件、基調講演1件、ワークショップの3部構成で行われました。防災学習発表会では、階上中学校からの2名と条南中学校からの5名が今年度の防災学習活動の成果について、気仙沼高校から3名の生徒が課題研究の成果をプレゼンテーションしました。基調講演では、当研究所の今村文彦所長・教授から「東日本大震災の教訓とこれからの防災の取組—それぞれの役割と実践」という演題で講演がありました。講演の後、伝承や防災教育プログラム、さらには今後のリスク（アウトターライズ）などの質問を頂きました。ワークショップでは、「どうしたら防災意識を高めることができるか」をテーマに、参加がグループに分かれて議論を行い、その結果について発表が行われました。防災学習・防災研究の発表とワークショップについては、その発表の後に、佐藤翔輔准教授が講評・コメントを行いました。ワークショップは、昨年度と同様、大変活発に議論が行われ、盛会となりました。



今村文彦所長（基調講演）



会場の様子



ワークショップの様子



佐藤翔輔准教授（講評）